



# 食を通じた 多様な主体によるプラットフォーム 成果報告会

～課題解決から価値創造へ～

2026年1月29日(木)

13:00～16:10

オンライン配信 (zoom)

定員270名 (先着)

ねらい

地域内外に存在する人・モノ・知識・関係性といった資源（アセット）をどのように発見し、意味づけ、主体同士のつながりの中で新たな価値を生み出していくのかについて、実践事例の共有と対話を通じて考える場とします。

## 価値創造型 プラットフォーム とは？

これまで多くの地域では、困りごと（ニーズ）が出てきたときに、それを解決できる人・団体・企業を探してつなぐ、という形で支援が行われてきました。

必要な支援を早く届けられる・企業など新しい担い手が参加しやすいという良さがある一方で、支援が「お願いベース」になりやすい・地域の中に経験やノウハウが残りにくい・活動が単発で終わってしまうといった課題も見えてきました。

本事業で大切にしたいのは、地域にすでにある力を持ち寄り、つながることで新しい価値が生まれる場です。

行政、社協、企業、地域団体、住民などが、「支える側・支えられる側」に分かれるのではなく、それぞれの得意なことや立場を活かして関わります。

このつながりの場を「価値創造型プラットフォーム」と位置付けました。

## 対象

- \*行政(保健福祉、生活支援、まちづくり、孤独孤立対策、食品ロス削減 等)
- \*社会福祉協議会 (CSW、サロン、地域福祉、生活支援 等)
- \*地域包括支援センター
- \*生活支援コーディネーター
- \*中間支援組織
- \*企業・生協・農協等の多様な主体
- \*居場所や食に関わる支援団体 等

参加費：無料

下記リンクまたはQRコードより  
お申し込みください



<https://forms.gle/X4nLjkkTWesUbwh26>

# プログラム

## 事業概要説明

「食を起点としたプラットフォームとその効果について」  
一般社団法人 全国食支援活動協力会 専務理事 平野覚治

## 講義

「課題解決型プラットフォームから価値創造型プラットフォームへ」  
稲城市福祉部 高齢福祉課 高齢福祉係 係長 荒井崇宏氏

## 事例報告

プラットフォームを実際に運用している先進事例地域や、今まさにプラットフォームの形成・醸成に向けて取り組んでいる地域から、活動のご報告をいただきます。

### 鳥取市および

#### 麒麟のまち中枢圏域

鳥取市総務部 人権政策局  
中央人権福祉センター 総括主査 川口寿弘氏

地域食堂を基盤に、周辺市町と連携した広域的な取り組みが行政の主導で進められています。行政や社協、企業、団体などが参加する官民連携プラットフォームの活用や、その効果についてお話しいただきます。

### 徳島県北島町

特定非営利活動法人 YOU&ゆう  
理事長 岡田あかね氏

生活支援コーディネーターが立ち上げた登録制プラットフォーム「まちコラ」を通じて、地域の人や団体、企業がつながり、さまざまな活動が生まれています。地域にある資源を活かし、新たな価値を生み出している取り組みです。

### 香川県中讃圏域

社会福祉法人 琴平町社会福祉協議会  
会長 越智和子氏

2市3町の社会福祉協議会が連携して、地域にある「食」に関する資源を活かした取り組みを行っています。  
県社協の支援のもと、今後は企業や行政など、さまざまな主体との連携も広がっていくことが期待されています。

### 北海道(帯広・苫小牧・函館)

一般財団法人 北海道国際交流センター  
専務理事・事務局長 池田誠氏

広大な北海道において、「食」が必要な人にきちんと届く仕組みづくりを進めています。  
民間団体が中心となり、行政や社協、活動団体、企業が顔の見える関係を築くための話し合いを重ね、少しずつ企業との連携も広がってきています。

### 青森県弘前市

一般社団法人 みらいねっと弘前  
代表理事 鹿内葵氏

中間支援団体「みらいねっと弘前」は、大学や行政、活動団体、企業と連携し、地域のネットワークを広げてきました。  
今後はこどもに限らず、さまざまな人の居場所づくりに向けた新たなプラットフォームづくりに取り組もうとしています。

## 質疑応答

皆さまのご参加をお待ちしております！